

2016年4月の望遠鏡観測の結果を(表-1)に示します。今月も寺迫氏からの観測報告がありました。

観測者 Observer	観測地 Locality	夜数 Night	時間 Time	流星数 Meteor			備考 Remarks
				Plot	S' n	Total	
寺迫 正典 (Terasako Masanori)	静岡県浜松市北区 (Hamamatsu shizuoka-pref)	3	180	-	65	65	15cm×25 27° Bino. 25cm×35 24° LT.
<b>2016年4月計</b>		<b>3</b>	<b>180</b>	<b>0</b>	<b>65</b>	<b>65</b>	<b>HR 21.7</b>

(表-1) 2016年4月望遠鏡観測結果

Table 1 Summary of the Telescopic Meteor observations in April 2016

● 出現数状況

日	JST						中央時 UT	観測方向 (Direction)	Plot	Seen	Total	HR	Mag	See	CI	観測者 (Observer)
	開始	終了	分	分	分	分										
15	27	17	28	17	60	15.783	Her,Lyr (天頂固定)	-	23	23	23.0	12.0	G		25cm L.T. *35	寺迫(Terasako.M)
17	27	0	28	0	60	17.771	Her, (天頂固定)	-	26	26	26.0	12.0	G		25cm L.T. *35	寺迫(Terasako.M)
29	19	42	20	42	60	29.467	UMa (天頂固定)	-	16	16	16.0	11.5	G		15cm Bino. *25	寺迫(Terasako.M)
<b>3 Night</b>						<b>180 Min.</b>		<b>0</b>	<b>65</b>	<b>65</b>	<b>21.7</b>					

2016年4月の出現数変化を(表-2)に示します。

(表-2) 2016年4月の望遠鏡流星の出現数変化

Table 2 Telescopic Meteors Observational data in April, 2016

● 光度分布

2016年4月の望遠鏡流星の光度分布は、(表-3)に示すとおりです。

	-5.0	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
寺迫 (Terasako.M)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	32	29	0	11.5 - 12.0	65	11.31
<b>Total</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>32</b>	<b>29</b>	<b>0</b>		<b>65</b>	<b>11.31</b>

(表-3) 2016年4月の望遠鏡流星の光度分布

Table 3 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in April, 2016

今月も、寺迫氏が多くの暗い流星を観測していましたので、各夜の光度分布を(表-4)に紹介します。

3時間の観測で、65個もの微光流星を捉えています。今月は、氏は天鏡に望遠鏡や双眼鏡を固定して観測されています。

氏の鋭眼が、こうした限界近い流星を捉えることにつながっているものと考えられます。

Date(UT)	5.0	10.0	11.0	12.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
15.783	1	2	11	9	12.0	23	11.04
17.771			6	20	12.0	26	11.77
29.467		1	15	0	11.5	16	10.94
<b>Total</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>32</b>	<b>29</b>		<b>65</b>	<b>11.31</b>

(表-4) 2016年4月の光度分布 (寺迫氏観測)

Table 4 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in April, 2016

(Terasako Obs.DATA)

● 幹事から

幹事は、4月からビデオカメラによる火球パトロールを開始しましたが、さっそく5月23日に東北地方上空に出現した-6等級の火球を捉えました。なかなか実際の流星を眺めることができませんが、少しでも流星観測に係わっていきたいものです。

寺迫氏の観測に疑問を持たれるかもしれませんが、氏の鋭眼については、氏のこれまでの仕事から疑問を挟みません。